

平成二年一月二日

平野 重吉 へ

拝啓

早速ながら先日はありがとうございました。本堂に
ご連絡上げました。朝のしじまの中をバタハタと馳走で
養生する小生も、千代家、貴位はゆるしてくださることも、
他家、日々重宝はたかひとお見及しなが、今ごろにあつて
汗乾いて居る頃でございす。ふふ、このとき
よくよくおとりなし下されば、幸甚に存じます。

所前様にお目にかつたのす。当日は小生がイギリスか
う招待した人を原爆資料館等に案内したのでござ
います。ベリンと云う人はイギリスのグリーンパーティ
の人で、その訪問人として、東京の平和利用などという
も、核兵器とまじりあはしてはありえない。なかに東京の電
にも反対と主張し、ゆずらない。同代も、日本では
とにかく平和利用をもっと強に追求して、ある程度成就
しつつあると、信じてゐる。主には、正報をゆを視察の
たい、といつてきたところから、来日したわけで、先週は
各地の東京の電所を見つゝ、いやらしくなると比べ、
格段の清潔な且つ、安全性について、その懸念がうやむや
と、疑問であるわけだ。当日は、まあ、いそも
（セロシマ）

